

【 診療科:呼吸器内科 】  
 【 レジメン登録番号:IP-37 】

〈 CBDCA+nab-PTX+Pembrolizumab 療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)							
			1	.....	8	.....	15	.....	21	
キイトルーダ	200mg	div	○							
アブラキサン	100mg/m <sup>2</sup>	div	○		○			○		
カルボプラチン	AUC=5~6	div	○							

【1コース期間: 21日】 【総コース数:4コース】

【適応癌種: 非小細胞肺癌(扁平上皮癌)】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg/body	div(30分で)
	生理食塩水 100mL*	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT <sub>3</sub> R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	アブラキサン 100mg/m <sup>2</sup>	div(30分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	カルボプラチン (AUC:5~6) × (GFR+25)mg	div(60分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(全開で)

<day8, 15>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 1.65mg	div(10分で)
	5-HT <sub>3</sub> R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	アブラキサン 100mg/m <sup>2</sup>	div(30分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献: The New England Journal of Medicine 2018;379:2040-51

【備考:①アブラキサンは、特定生物由来製品の同意書が必要。】

【備考:②※最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。】

【備考:③4コース終了後、増悪なければキイトルーダ単剤による維持療法を行う(35コースまで)

【備考:④キイトルーダはインラインフィルターを使用、アブラキサンはインラインフィルターを使用しないこと。別ルートで投与すること。】

【変法情報:】